

高潮ハザードマップについて

このハザードマップでは、我が国で既往最大規模の台風襲来時における最大となる浸水域及び浸水深を地図上に示しています。

【令和元年12月 福岡県作成】

想定する台風について

想定する台風の中心気圧は、我が国での既往最大の台風規模である室戸台風(昭和9年)を基本とし、想定する台風の半径(最大旋衡風速半径)*1と移動速度は、我が国で最大の高潮被害となった伊勢湾台風(昭和34年)としています。想定する台風の経路としては、過去に福岡県に襲来した台風の実績から豊前豊後沿岸にとって危険な台風の進行方向として、響灘に面する沿岸では進行方向「東進型」、関門海峡と周防灘に面する沿岸では進行方向「北西進型」の台風コースが、最大高潮水位を生じるものとして選定されました。このハザードマップに示した浸水域以外にも浸水する可能性がありますのでご注意ください。

河川流量について

水防上重要とみなされる河川(佐井川)に対しては、河川の整備で目標とする流量に、現在あるダムや遊水地の効果を見込んだものを与えています。その他の河川については、流量を見込まずに高潮の影響を計算しています。

潮位について

潮位については、刈田港での2012～2016年の潮位観測結果に基づく期望平均満潮位T.P.2.04mに異常潮位0.128mを考慮したものを使用しています。

各種構造物の取り扱いについて

- ①潮位・波浪が各種施設の設計条件に達した段階で決壊するものとしております。また、水門・陸閘等については、操作規則通りに運用されるものとし、周辺の堤防と同時に決壊するものとしております。
- ②決壊後の各種施設は、周辺地盤の高さと同様の地形として扱います。

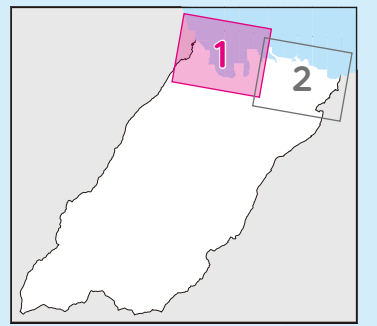
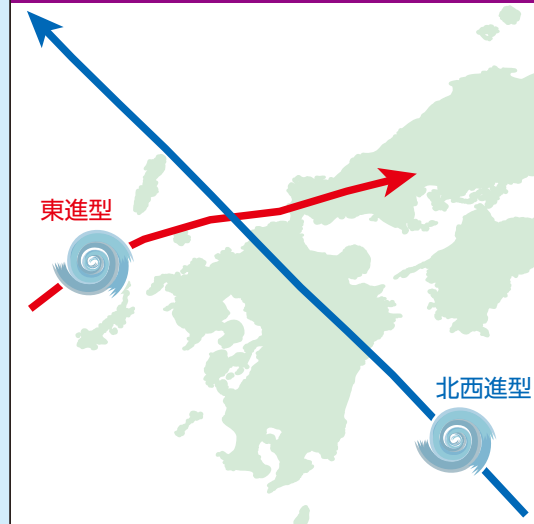
※1 台風の空間的な大きさを示す目安

モデル台風の中心気圧等について

台風の中心気圧	台風の半径	時 速
900(hPa)	75(km)	7.3(km)

(参考) 令和6年8月に九州へ接近した台風10号は、最大中心気圧935(hPa)で九州接近時は960(hPa)

想定する台風の進路

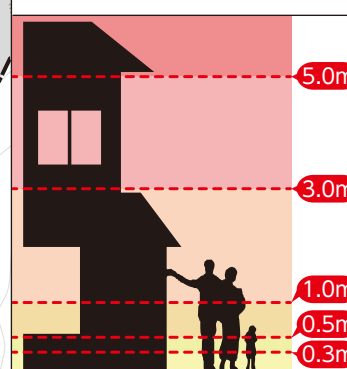


1:10,000
0 100 200m

周 防 灘

高潮浸水想定(浸水深区分)

- 10m以上～20m未満
- 5m以上～10m未満
- 3m以上～5m未満
- 1m以上～3m未満
- 0.5m以上～1m未満
- 0.3m以上～0.5m未満
- 0.3m未満



防災関連情報

- 指定緊急避難場所
- 指定避難所 福祉避難所
- AED AED設置場所
- 市役所 有料道路
- 警察所・交番 国道
- 消防署・消防車庫 県道

※AEDについては、令和7年2月時点で市が把握している設置場所です。

